

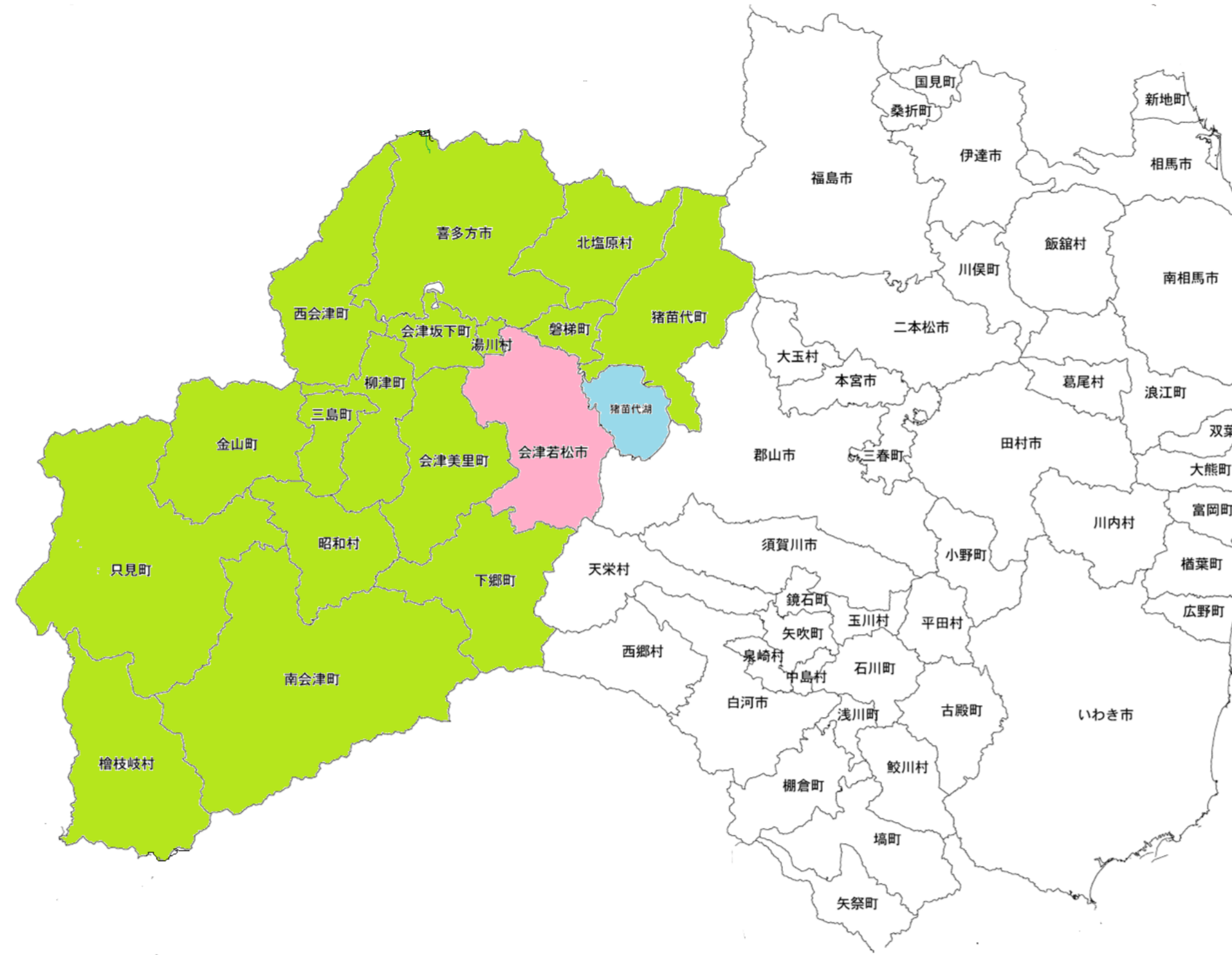
会津「あいうえお」事業 ～日本語サロンの運営及び語彙集作成の事例～

会津若松市国際交流協会

会津地方(17市町村)

外国籍市民約1,200人

日本語教室4～5団体



1994年 会津若松市で日本語会話教室スタート

1996年 協会設立 教室は協会に移籍

<事業のねらい>

会津地域に住む外国人出身者と地域住民が相互理解を深め、皆が安全に安心して日々の生活を送ることができる住みやすい街づくりを目指す。

日本語サロン

人材育成・教授法講座

語彙集作成

【事業実施体制】

協会スタッフ
(地域日本語教育
コーディネーター)

協働



当協会日本語ボランティア

アドバイス

県内大学等の日本語・言語専門の先生(運営委員)

- 専門家からの意見
- 事業を客観的に
- 地域の実情に合わせて

『日本語サロン』

目的: 外国出身者が日常生活で必要となる語彙を積極的に習得する機会を設け、家族や地域の人々とのコミュニケーションの円滑化を図り、相互理解を深められるようにする。

対象: 会津地方在住の外国人出身者

教室の様子

- ・毎月テーマ(ex病気の症状、電話の受け方・かけ方、道案内など)を設定
- ・毎回の活動時間は2時間
- ・グループレッスン+全体学習

【前半】

(1時間) 参加者のレベルに合わせて
グループレッスンで学習する

【後半】

(30分) 設定したテーマを中心に全体学習をする
(30分) お茶を飲みながら、日本の歌を歌う



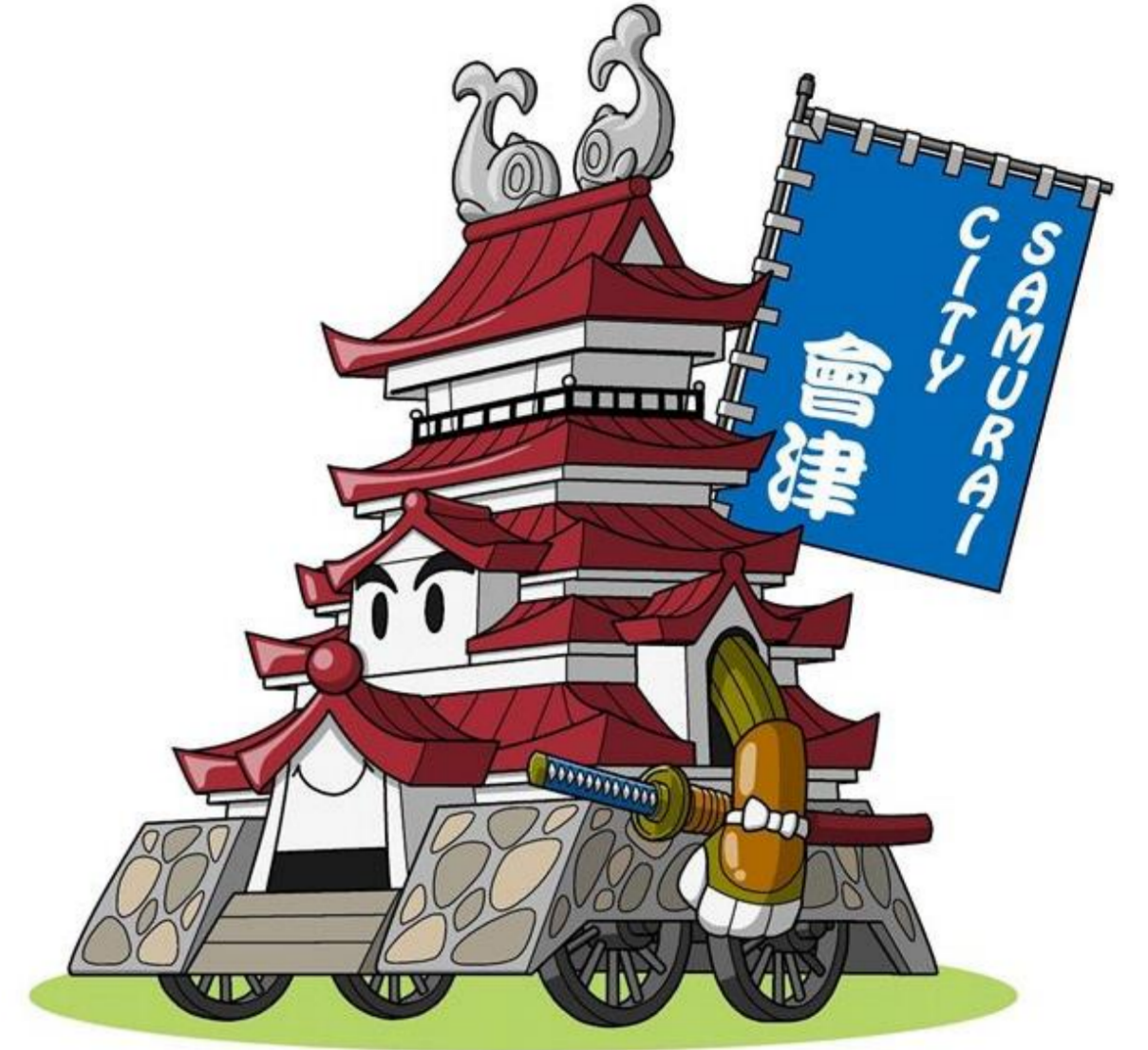
日本の伝統文化に触れ
一緒に楽しむ!!!

【語彙集】

ねらい ・すぐに使える、生活密着型

編集 ・スタッフ(コーディネーター)とボランティアでの協働
・作業は、ボランティアが中心

特徴 ・生活や観光の場面ごとに品詞で色分け
・中国語、英語、韓国語の訳付き
・地域の素材(写真やイラスト)を活用
・ハンディサイズ



成果 ・よく使う言葉、必要な言葉の再認識ができた。
・在住外国人、県内の日本語教室、観光関係から増刷の問合せや好評価をいただいた。
・海外からの観光客からも好評である。



生活編



観光編



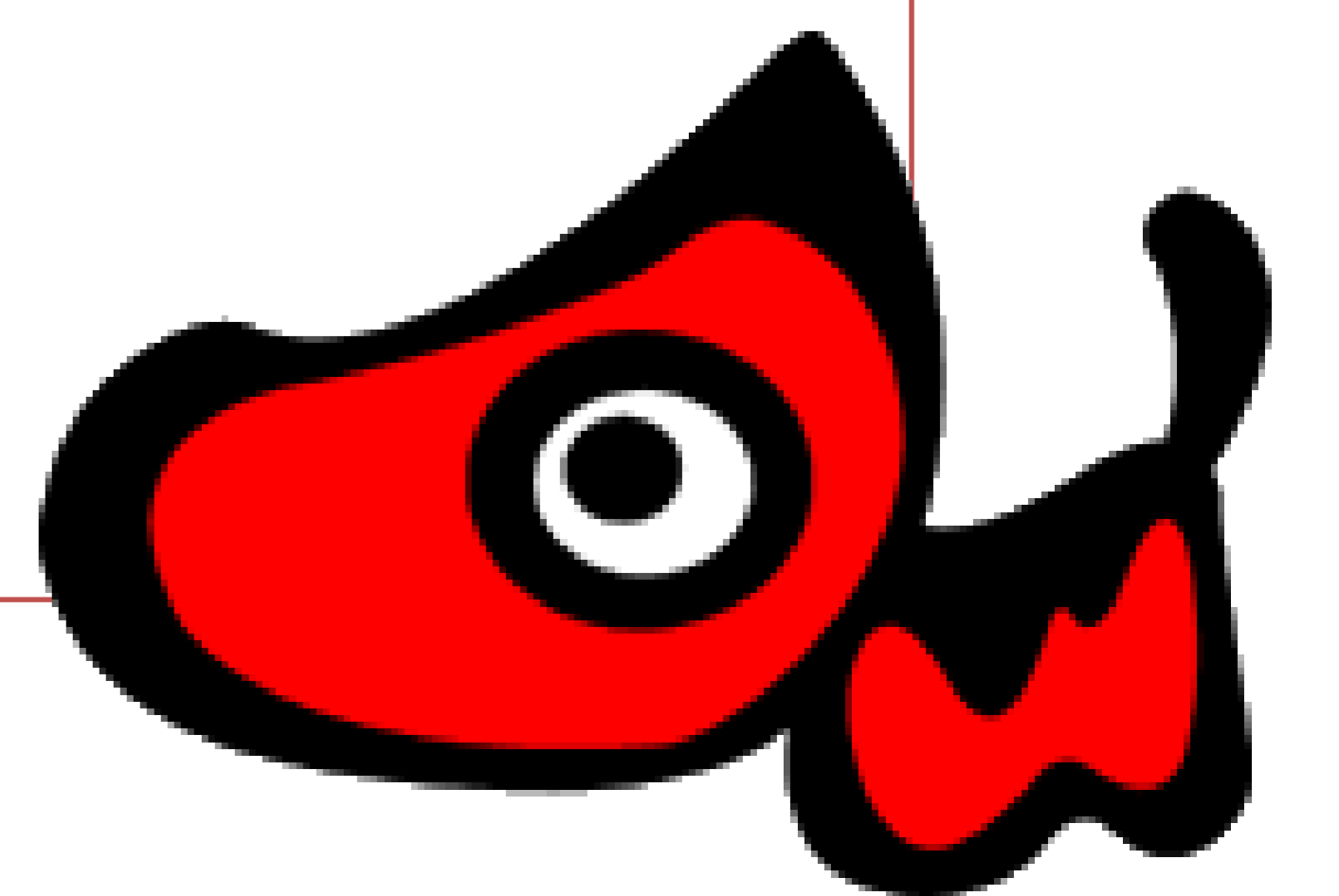
～生活編～見出し

- 災害・事故
- 住む・暮らす
- 病院に行く
- 役所で手続きをする
- 金融機関を利用する
- 買い物をする
- 料理をする



～観光編～見出し

- 会津の観光スポット
- 場所を聞く
- 乗り物に乗る
- ホテル(旅館)を予約する
- 温泉に入る
- お土産を買う
- 耳にする方言



課題 ・語彙の選択基準、掲載語彙数

